

# 平成 30 年度 公共事業の新規評価結果について

事業採択の判断に活用するために、新たに事業に着手しようとする箇所について、事業の必要性、重要性などの視点から新規評価を行いました。

## (1) 評価対象事業箇所

評価対象は、県が事業主体となって、平成 31 年度に新たに着手しようとする公共事業のうち、総事業費が 10 億円以上の 7 箇所としました。

## (2) 新規評価の審議結果

県が新規評価を実施した箇所について、公共事業評価監視委員会で審議を行った結果、必要性、重要性、緊急性などをまとめた 県の自己評価は妥当 とのご意見をいただきました。

平成 30 年度 公共事業新規評価実施箇所一覧

事業種類	事業名	市町村名	路河川名等	事業概要	事業期間	全体事業費 (千円)	担当課	県の 自己 評価	評価監 視委員 会意見
農村地域の 防災・減災	県営農村 地域防災減 災	須坂市	ちくまがわえんがらあいのしま 千曲川沿岸相之島	排水機場改修 2 箇 所	2019~2026	1,000,000	農地整備課	A	妥当
主要な道路の 整備	道路改築	松本市 ～ 青木村	(国)143号 あおきとうげ 青木峠	道路改築工 L=4.3km W=6.5 (9.0) m	2019~2027	15,000,000	道路建設課	A	妥当
補完的な道路 の整備	街路	飯田市	とうしんちよう (都)東新町 ざこうじせん 座光寺線 かみさと 上郷	道路改築工 L=1,400m W=6.0 (12.0~15.0) m	2019~2027	3,700,000	都市・ まちづくり課	A	妥当
農業基盤基盤	県営かんが い排水	小諸市ほか	たてしなかんせん 立科幹線	用水路工 L=7,144m	2019~2025	1,625,000	農地整備課	A	妥当
	県営畑地帯 総合土地改 良	南牧村	みなみまぎのべやま 南牧野辺山	畑地かんがい施設 A=254ha ほか	2019~2025	1,840,000	農地整備課	A	妥当
	県営畑地帯 総合土地改 良	塩尻市	せばみょうぎ 洗馬妙義	畑地かんがい施設 A=21.7ha ほか	2019~2026	1,215,000	農地整備課	A	妥当
その他	公営住宅建 替	伊那市	おおがや 県営住宅大萱団地	共同住宅 (RC 4 階 2 棟 72 戸) の建替え	2019~2027	2,300,000	公営住宅室	A	妥当
			7箇所						

事業の必要性、重要性、効率性、緊急性、計画熟度を点数化し、その合計により評価

[100点満点 A:75点以上 B:75~50点 C:49点以下]

注)網掛け:詳細審議箇所(各事業等を取り巻く社会状況等を勘案して、詳細な審議の対象事業として委員会が抽出した箇所)

## 詳細審議箇所の判断理由・審議上の意見 (○判断に至った理由 ◇審議上の意見)

### 1 道路改築 (国) 143号 青木峠 (松本市～青木村)

- 当路線は、主要な幹線道路で第一次緊急輸送路であるが、狭く屈曲した峠道であり、高さ制限や信号処理による片側交互通行規制のトンネルを有し、車両の通行に支障をきたしているため、バイパス整備により安全で快適な交通の確保につながると認められること。
- ◇ ルート決定にあたっては、地形・地質等をより精査し、検討されたい。
- ◇ バイパス整備により、高度救命救急センターである信州大学医学部附属病院への上田地域からのアクセスが向上することについて、事業の必要性として評価するよう検討されたい。
- ◇ 事業効果は、松本・上田間だけではなく安曇野地域等も含めるなどより広域的な視点で検討されたい。



### 2 県営畑地帯総合土地改良 南牧野辺山 (南牧村)

- 本地区は、畑地かんがい施設の未整備や排水不良、農道の幅員狭小が原因で、野菜の収量・品質低下のほか、作物輸送に支障をきたしているため、畑地かんがい施設、排水路、農道を一体的に整備することにより、高品質な葉物野菜の供給産地として、農業生産性が向上すると認められること。
- 担い手農家への農地集積が進み、農業経営の安定化が図られると認められること。
- ◇ 施設整備により、葉物野菜の生産効率が上がるので、早期に整備を進められたい。



### 3 公営住宅建替 県営住宅大萱団地 (伊那市)

- 老朽化が著しい伊那市内の公営住宅の居住環境の改善につながること。
- 県営と市営が隣接する2つの団地において、県と市が協働で建替、改修、移管による公営住宅の再編・整備を行い、居住環境改善及び管理の効率化を図るものと認められること。
- ◇ 多目的広場の活用方法について、他の事例を参考に検討されたい。

